

# 平成24年度 看護部安全管理委員会 活動報告

## —安全への取り組みこの一年—

看護部安全管理委員会

深田 栄子 草分 明子 福留 元美  
峯 惠 早川 則子 小川 秀子  
亀山 敦史 木野 光子

看護部安全リンクナース会

### 【はじめに】

今年度の看護部安全管理委員会は昨年度に引き続き、看護部BSCに基づく「安全な看護を保証する」というテーマに沿い目標を設定し、活動を行った。安全リンクナース会の活動では、KYTの推進、5Sの推進、安全システムの確立、転倒転落に関する看護記録や評価をテーマにグループ活動を行った。今年度の活動実績について報告する。

### 【活動報告】

KYT(危険予知トレーニング)を、各部署10回以上/年の実施を目標に、リンクナースへの啓発、KYT事例シートの提供および時間外のKYTセミナーの開催等、目標が達成出来るように支援した。短時間KYTや作業指示KYTの紹介を行い、意識の向上に努めた。また、KYT実施回数のBSC目標は年度途中で10回以上/年から15回以上/年に上方修正できた。5S推進は、職場で使用しやすい5Sチェック表の作成を行った。安全システム確立として、内服薬ダブルチェックに関するローカルルールの廃止について取り組んだ。転倒転落防止については、転倒転落発生時の対応と定期評価を行った。転倒転落に関する看護実践の記録について、現在検討している。さらに、職員の教材用として、「転倒転落KYT」のDVDを作成中であり、新たな取り組みも行った。

### 【考察】

今年度も各グループに分かれて活動し、またそれぞれの目標には、具体的な数値目標を挙げ可視化することで、目標達成に向けて一定の成果を得ることができた。KYTは各部署で定着してきており、それに伴い看護師個々のリスク感性の向上に寄与できていると考える。5Sは安全

環境づくりの基本であり、今後、作成されたチェックシートの活用により、より安全な環境づくりに努めたい。ローカルルールの廃止は、長期継続に労力を要する課題であるが、引き続き取り組みが必要であると考えます。転倒転落については、次期システムへの更新も視野に入れ、取り組んでいきたい。

